

(様式 1-5)

福島県 地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業 個票

令和 4 年 7 月 29 日時点

※本様式は 1-3, 1-4 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	9	事業名	ホープツーリズム運営強化事業	事業番号	A-9
事業実施主体	福島県	総交付対象事業費	245,786 千円		
既配分額	0 千円	当該年度交付対象事業費	39,239 千円		
経費区分ごとの費用					
一 地域の魅力向上・発信事業					
①情報発信事業					
小計 39,239 千円					
i) 風評動向調査 19,127 千円					
ii) 体験等企画実施 20,112 千円					
iii) 情報発信コンテンツ作成 千円					
iv) ポータルサイト構築					
②外部人材活用					
i) 企画立案のための外部人材の活用					
ii) 地域の語り部の育成					
二 関連施設の改修地域の魅力発信事業と一体的に行うための関連施設の改修					
風評の払拭に関する目標					
【アウトプット】					
●旅行商品の造成 30 種類 (R7 年度)					
【アウトカム】					
●個人向けホープツーリズム利用者数 10,000 人 (R7 年度)					
事業概要					
事業実施主体	福島県				
主な企画内容	原子力災害による風評払拭に向けた一般観光客向けのホープツーリズムに関する情報発信、個人向けホープツーリズム商品の造成				
主な事業の実施場所	浜通り各所				
事業の実施期間	令和 4 年 10 月～令和 5 年 3 月				
企画内容					
【実施体制】					
①実地主体：福島県					
②連携団体及び役割分担					
福島県：他の浜通り関連事業（浜通り観光再生事業、ホープツーリズム推進事業等）との連携					
委託業者：情報発信、個人向けホープツーリズム商品の造成					
【現状・課題】					
<現状>					
・東日本大震災から 11 年が経過したが、浜通りにおける観光入込客数が県内の他地域と比較し、落ち込みが大きいとともに、処理水の処分による新たな風評が強く懸念される。					
・これまで教育旅行を中心とした団体旅行向けのホープツーリズム（※）を推進しているところであるが、今年度は新たに個人、少人数グループなど幅広い層を対象としたホープツーリズムも展開しているところ。					
（※）福島のあるままの姿と復興に向け果敢にチャレンジする人々との対話を通して、震災・原子力災害の教訓、復興、そしてこの逆境からどうすれば脱却できるのかを考えることで、自分自身を成長させる学びの旅					
<課題>					

- ・ホープツーリズムを体験するきっかけを提供する新たな仕組み作り。

【現状の課題に対するこれまでの取組】

- ・団体向け旅行の商品造成
- ・教育旅行向け現地ガイドの育成
- ・地域で活躍する人々の掘り起こしと登録
- ・福島市を拠点としたホープツーリズム総合窓口の運営（福島県観光物産交流協会）
- ・「ホープツーリズム」の商標登録による認知拡大

【事業実施により得られる効果】

個人向けにホープツーリズムに関する情報発信を行うことで、今の福島の現状を正しく理解してもらうとともに、これまで培ってきた団体向けのホープツーリズムのノウハウを生かした、魅力的な個人向けホープツーリズム商品を造成し、実際に福島に来て、福島の現状を体感してもらうことで、原子力災害で風評被害を受けている浜通り地域の風評払拭に繋がる。

【今年度事業における具体的な取組内容】

①「個人向けホープツーリズム」に関する情報の発信

実施期間：R4.12月～R5.3月
実施体制：委託業者（プロポーザル方式）
概算費用：2,011万円

- これまで整備してきた団体向けのHPに加え、個人向けホープツーリズムの特設HPを開設し、ホープツーリズムに関する情報発信を行う。また実際に福島を訪問してもらうために②業務で造成した個人向けホープツーリズム商品（モデルツアープラン）をHP上に掲載し、取扱い可能な旅行AGTの紹介をするとともに、ホープツーリズムに関する動画制作を行うなど、積極的な情報発信とWEBサイト管理を行う。
- 併せて主要SNSの国内月間ユーザー数が最も多いLINE広告及び、ターゲットへの訴求力が高いGoogle広告を活用した情報発信等を実施し、個人向けホープツーリズム商品を紹介することでツアー参加を促し、風評払拭へ繋げていく。

②「個人向けホープツーリズム」による誘客促進

実施期間：R4.12月～R5.3月
実施体制：委託業者（プロポーザル方式）
概算費用：1,913万円

- メインターゲットは首都圏在住の全年齢層を対象とし、ここを切り口に今後の主要ターゲットを選定していくものとする。
福島浜通りでの個人向け旅行プランの造成を検討している旅行AGT（JTBやHIS等）とワークショップ等を開催し、モデルプラン造成数10個を目指す。
- アンケート準備・調査・集計・分析業務を行い、事業検証を行う。

【今年度事業における目標】※複数年度にわたって事業を実施する場合

【アウトプット】

- 個人向けホープツーリズムのモデルツアープランの造成 10種類
- 特設HPの開設
- 広告の配信（2種類）

【アウトカム】

- 特設HPによる個人向けホープツーリズムのモデルプランの紹介開始

【今年度事業の実施により得られる効果】※複数年度にわたって事業を実施する場合

- 個人向けにホープツーリズムに関する情報発信を行うことで、今の福島（特に浜通り）の現状を正しく理解してもらう。

【次年度以降の取組】 ※複数年度にわたって事業を実施する場合

R 5 年度

- ・ 情報発信、情報提供等（特設 HP 更新、広告配信を含む）
- ・ 新たなホープツーリズム商品の造成、改善（モデルコースの追加、磨き上げ）
- ・ 観光情報誌を活用した記事広告の出稿

R 6 年度

- ・ 情報発信、情報提供等（特設 HP 更新、広告配信を含む）
- ・ 事業の効果検証や調査（外部人材育成を活用）
- ・ 自走化に向けた検討（外部人材を活用）

R 7 年度

- ・ 情報発信、情報提供等（特設 HP 更新、広告配信を含む）
- ・ 旅行商品の P R を通して、ツアー収益増に繋げ、自走化に向けた取組の支援

【新型コロナ感染拡大防止対策】

事業実施にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、国・実施主体する地方公共団体・（イベント開催など実施主体と開催地が属する地方公共団体が異なる場合には、開催地が属する地方公共団体）が発出する通知・ガイドラインに則った形で事業を実施いたします。

＜具体的な対策＞

- ・ 新型コロナウイルス対策として、検温、体調確認を実施する。
- ・ ホープツーリズム商品造成を行う旅行 AGT 等に対し、ガイドラインの遵守を依頼する。